

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	令和7年6月20日 ()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	唐津市 (41202)
地域名 (地域内農業集落名)	菖蒲 (菖蒲)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	66.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	60.6 ha
② 田の面積	26.2 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	38.4 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	5.2 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	— ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	— ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

当地域は、過去に様々な圃場整備事業を行っているため、1筆毎の農地の形状も良い。地区内に中山間地域等直接支払制度を利用した2つの集落協定と多面的機能支払制度を利用した協定が1つあり、農地の保全管理や水路の延長工事を行っている。 現状、複数の担い手で広く農地を耕作しているが、高齢化も進み規模縮小や離農問題などの課題もある。また、農地が居住区を挟むように存在するため、荒廃化が進むとイノシシ等の鳥獣被害が拡大する懸念もある。 【地域の基礎データ】 農業者: 41人(認定農業者: 10人、利用者: 31人) 作物: 水稻、WCS用稲、飼料作物、玉ねぎ、イモ類
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

田については、地区内及び周辺に畜産農家が点在するため、水稻やWCS用稲、飼料作物の生産を続けていく。畑についても、地域外の栽培農家と協力しながら維持管理を行いたい。中山間地域等直接支払事業などの補助事業は継続して活用し、農地の保全や水路の整備に努める。 有害鳥獣対策として、補助事業を使った電牧やWMの導入で農作物被害を減らしつつ、地区の駆除員と情報を共有しながら捕獲体制の強化を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
離農や規模縮小のタイミングで、現在の担い手への農地の集積・集約化を行い、並行して担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用者による農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	16	%	将来の目標とする集積率
			16 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手となる農家を中心に集約化を進め、目標集積率の達成を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
田については、周辺にある畜産関係の農業者に集約が可能かどうか相談しながら調整に努める。 畑については、後継者で引き続き耕作を維持しつつ、地区外の担い手(たばこ農家など)と集積・集約の検討を行いながら保全していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
地区としての活用方針はない。まず地域内の担い手で借り手を探し、困難な場合は個人の判断で農地中間管理機構を利用して広く探す。
(3)基盤整備事業への取組
過去に様々な基盤整備を行っているため、現在のところ取り組む意向はない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
一部の畑では地域外からの入作もあり、農地の維持管理のためにも外部からの相談も柔軟に対応したい。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地区内で農業用機械を所有するものに相談するなど、個人の判断に委ねる。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①新規駆除員の育成やはこ罠の設置数を増やし、被害防止対策の強化に努める。さらなる捕獲頭数増加のため、必要とあれば地区外の駆除員と協力して行う。

⑦集落中央の菖蒲公民館前に広がる南北に伸びた水田を中心に、今後も継続して保全管理をしていく。

⑧水路の延長工事についても継続して行う。

⑩地域計画及び目標地図の変更が必要となる場合は、適宜協議の場を設置することを基本とするが、住民負担の軽減を図るため、地域の会合等を活用して変更案の内容協議や意見の取りまとめを行うなど、簡易な方法による協議を行うことができるものとする。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農		いちご	0.8 ha	0 ha	いちご	0.2 ha	0 ha	1	
認農			2 ha	0 ha		1.6 ha	0 ha	2	
認農			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	3	
認農		みかん	1.2 ha	0 ha	みかん	1.2 ha	0 ha	4	
認農		葉たばこ	0.5 ha	0 ha	葉たばこ	0.5 ha	0 ha	5	
認農		飼料作物	1 ha	0 ha	飼料作物	1 ha	0 ha	6	
認農			1.1 ha	0 ha		1.1 ha	0 ha	7	
認農			0.9 ha	0 ha		0.9 ha	0 ha	8	
認農		たばこ	1.3 ha	0 ha	たばこ	0.7 ha	0 ha	9	
認農		いちご	1.8 ha	0 ha	いちご	1.8 ha	0 ha	10	
利用者		水稻、たばこ	0.3 ha	0 ha	水稻、たばこ	0.2 ha	0 ha	11	
利用者		水稻、野菜	0.9 ha	0 ha	水稻、野菜	0.8 ha	0 ha	12	
利用者		水稻	0.4 ha	0 ha	水稻	0.3 ha	0 ha	13	
利用者		水稻、ハーブ	0.1 ha	0 ha	水稻、ハーブ	0.1 ha	0 ha	14	
利用者		水稻、たばこ	4.3 ha	0 ha	水稻、たばこ	4 ha	0 ha	15	
利用者		水稻、WCS用稲、飼料作物	0 ha	0 ha	水稻、WCS用稲、飼料作物	5.3 ha	0 ha	16	
利用者		水稻、野菜	0.4 ha	0 ha	野菜	0.4 ha	0 ha	17	
利用者			0 ha	0 ha	野菜	0.1 ha	0 ha	18	
利用者			0.7 ha	0 ha		0.4 ha	0 ha	19	
利用者		水稻、WCS用稲、飼料作物	0 ha	0 ha	水稻、WCS用稲、飼料作物	1.8 ha	0 ha	20	
利用者		水稻、WCS用稲、野菜	2.1 ha	0 ha	水稻、WCS用稲、野菜	2.1 ha	0 ha	21	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	22	
利用者		飼料作物	0 ha	0 ha	飼料作物	0.9 ha	0 ha	23	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	24	
利用者			0.4 ha	0 ha		0.4 ha	0 ha	25	
利用者		水稻、みかん、野菜	0 ha	0 ha	水稻	0.5 ha	0 ha	26	
利用者		水稻、葉たばこ	1.8 ha	0 ha	水稻、葉たばこ	1.8 ha	0 ha	27	
利用者		野菜	0.1 ha	0 ha	野菜	0.1 ha	0 ha	28	
利用者			0.6 ha	0 ha		0.6 ha	0 ha	29	
利用者			0.3 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	30	
利用者			0.5 ha	0 ha		0.5 ha	0 ha	31	
利用者		水稻	1.4 ha	0 ha	水稻	0.8 ha	0 ha	32	
利用者			0.3 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	33	
利用者			0.5 ha	0 ha		0.5 ha	0 ha	34	
利用者			0.5 ha	0 ha		0.5 ha	0 ha	35	
利用者			0.2 ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	36	
利用者			0.2 ha	0 ha		0.2 ha	0 ha	37	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	38	
利用者			0.3 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	39	
利用者		たばこ	0.5 ha	0 ha	たばこ	0.3 ha	0 ha	40	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	41	
計	41経営体		27.9 ha	0 ha		33.2 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

変更内容

1 地区名

菖蒲地区

2 内容

対象区域の変更

(1) 対象区域からの除外

番号	土地の所在地	除外理由
1	鎮西町菖蒲字菖蒲 2815-1	一般住宅への転用のため